



陽気は幸せの種

No.107

2016. 2. 15

●ホームページからも「陽気だより」
最新号・バックナンバーをご覧いただけます

<http://yotokusha.com/>

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

昭和34年4月号から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で67年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。

通り魔事件の教訓

——イチジクの実の中に、
そのタネの中に何があるのか——

神尾 知

(昭和三十四年当時 名昇陽分教会長・医学博士)

科学偏重のあやまり

母親が大学出の息子に先祖の墓参りをさせたいというので、わざわざ郷里につれて帰った。ところが、息子はついにお参りをしなかつた。その理由は、おじいさん、おばあさんの顔を見たことがないのだから、お墓参りをする必要がないというわけなのだそうです。

ある学校で、先生方の会があつて、同僚が死亡した場合に香典を贈ることになつていく。その金額が何年前かに決めたので少ない。時代に応じて増額しようという相談の折、年配の先生方には誰一人反対

するものがないのに、二十代、三十代の若い先生は、絶対にこれに反対。その理由は、死んだ人に香典を贈る必要がない。死ねば何もなくなるではないか、というわけ。そこで、死んだ人に香典ではなく、遺族にお見舞いとして差し上げよう、というので増額に決まつたということです。

これが科学偏重の現代教育の姿ではないでしょうか。

心霊科学が取り上げられていく今日、こんな考え方は時代遅れです。国民道徳が地に墮ちたと歎く。そうかといつて、親には孝行をすべきものなり、祖先は尊ぶべきものなりなどと、旧道徳を持ち出し

の生命が宿されていると教えられた。

生命の尊貴

昔、有名な和尚さんがあつて、外にお湯を捨てるのに、必ず湯かげんをみられたというのです。アリ一匹の命も、宇宙の生命につながる、その尊さを知っておられたからです。

今の人たちは、人を殺すことを何とも思わない。通り魔事件などというのは、人殺しを一種のレクリエーションく

陽気

3月号

特集
仕事に活かす信仰
連載

◎医の目・鷹の目
◎悩み相談室「就職活動が修養科入学か」

購読に関する問合せ先 養徳社 業務部窓口
☎0120-920-398

月刊『陽気』
定期購読受付中

お 店まで買いに行くのが大変。忙しくて購入するのを忘れた。定期購読はそんな手間を省きます。

毎月20日前後にご自宅宛に発送いたします。

(例：3月号は2月20日)

定期購読料金 1年分…3,420円(送料込)
半年分…1,710円(送料込)

らいに考えているのかもしれない。

なぜ、こういうふうになつたのを粗末に扱うようになったのでしょうか。

その一つは、戦争中に国民が人殺しの稽古をさせられたからです。戦後の映画や雑誌に、あまりにも人殺しの場面が多すぎる。模倣性に富む青少年がこれを真似るのは当然です。

人を救うための医学が、案外生命の問題をおろそかにしている。母体の健康状態とか経済的な理由で妊娠を中絶することは、法的に許されている。しかし、実際には、そのためにかえって身体が弱り、貧乏している人が多い。職業とはいわゆる幸福にするとは限らない。教育といわず医療といわず、あらゆる部門において、ぎりぎりの段階に直面しているのです。

私たちの命は必ず親からもらっている。親の命はまたその親とさかのぼっていくと、結局は宇宙の生命となり、神仏につながる命である。親に早く別れた人は親のありがた

さがわからない。しかし、親がなければ自分の命がない。身体もない。生みの親はただ一人。全身の細胞一つ一つにまでもゆきわたって動いている命こそ、親の命であり、祖先の命である。私たちは現在、親とともに生き、祖先とともに生きていくのである。世は正に原子力の時代、人工衛星の打ち上げられる今日、私たちは、あらゆる面において人生観を変え、宇宙観に立脚して、ものごとを考え直さなければならぬ時がきているのです。

◆お知らせ◆

〈新刊案内〉

『出産 助産師の祈り』

目黒和加子著



〔『陽気』平成28年2月号「新刊案内」より〕

本書では、著者の助産師としての体験談と、その体験を神様からのメッセージとして受け取り、どう悟って自身の

成長へつなげたかが赤裸々に語られています。特に母児の命の瀬戸際に立ったときに現れる不思議に、存命の教祖のお働きを実感するところは、信仰を同じくする読み手の心を強く揺さぶります。また、『稿本天理教教祖伝』「おびやためし」に関して、産科の専門知識と豊富な分娩介助の経験、ようぼくとしての視点を元に深く掘り下げて考察されています。本書の中で著者は「助産師になったというより、ならされた」と書いています。神意によつてならされた理由の一つは、この「おびやためし」の考察をさせる役割があったと感じます。体験を通して、厳しくも温かく出産を説いた本書は、こ

れから「おびや許し」を戴かれる方に限らず、誰もが各々の立場において親神様、教祖のお働きの大きさを実感し、感謝の心をもった夫婦・家族のあり方等に幅広く生かされることでしょうか。多くの方々の心に届くことを願ってやみません。

養徳社刊 新書判・256頁

定価 1,900円＋税

※ご購入は、おやさど書店（三島店・ブックス道友）、神具店でお求めいただくか、直接当社へご注文下さい。（フリーダイヤル 0120-9201398 養徳社業務部）

【立ち読み公開中】パソコン、スマートフォン、タブレットでご覧いただけます。

http://www.kt2hc.com/actbookjyo_inori/

『出産』立ち読み↓



Facebook で最新情報をチェック！
<https://www.facebook.com/yotokusha>

養徳社営業予定

赤字は休業日

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

おつとめ

(1日～15日) 朝6:30

夕6:00

(16日～31日) 朝6:15

夕6:30

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

おつとめ

(1日～15日) 朝6:00

夕6:30

(16日～30日) 朝5:45

夕6:45

【陽気担当者変更届け】 陽気お取扱者ご担当者様のご変更の際、弊社ホームページよりファイルをダウンロードいただき 必要事項にご記入いただきファックス下さるか、メールでご連絡ください。折り返し担当者からご連絡させていただきます。

FAX...0743-63-8077 (24時間 年中無休) 郵送...〒632-0016 奈良県天理市川原城町 388 養徳社 業務部

メール...yotokusha-eigyoku@poem.ocn.ne.jp